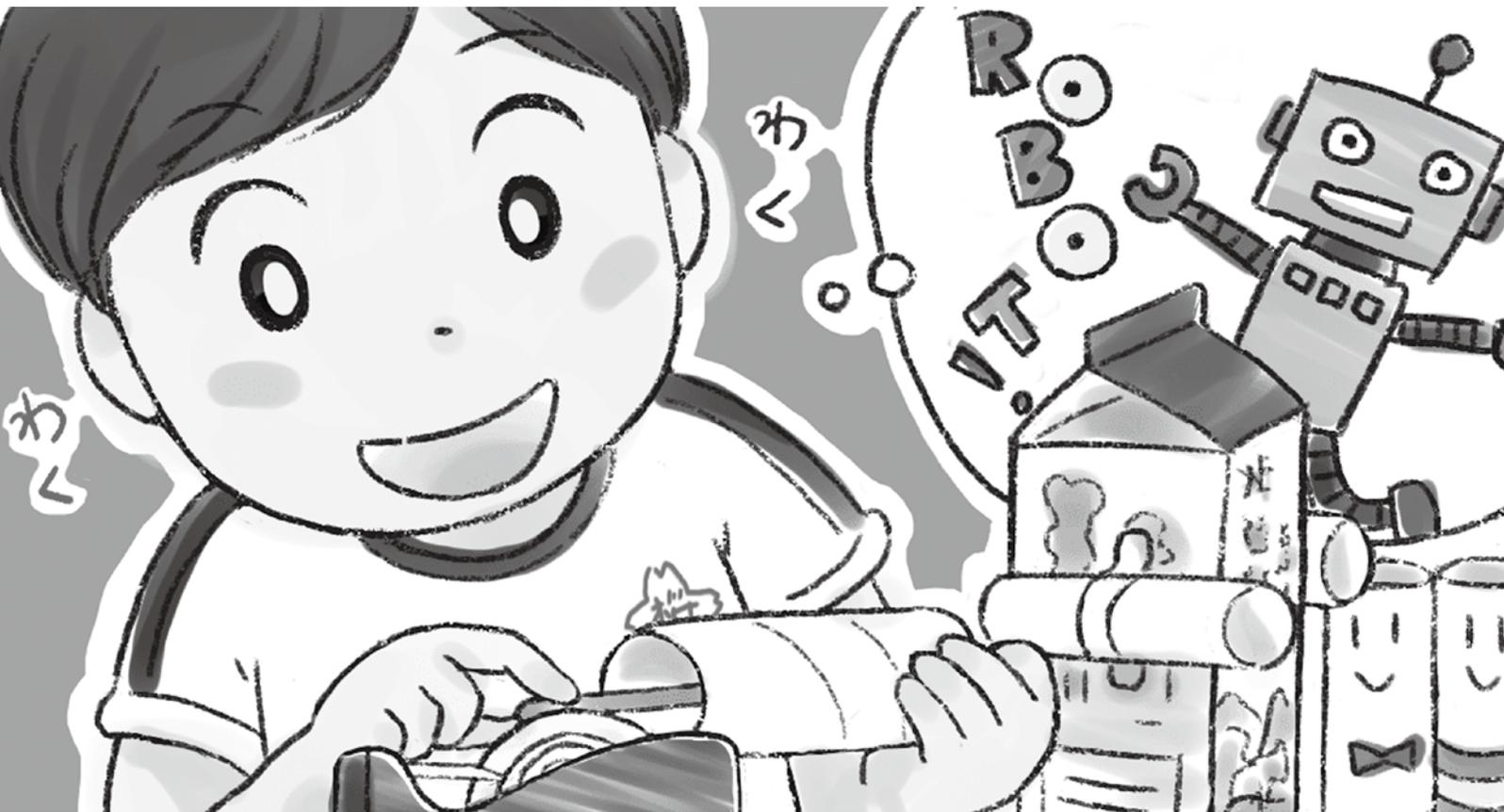


議会だより



6月議会

6月1日～23日と
5月15日に開催された
臨時議会の結果を
お知らせします。



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん

INDEX

新町長インタビュー	p.2～3
<特集>新型コロナ対策「住民の声」	p.4～5
新型コロナウイルス議会の対応	p.6
議案一覧	p.22～23

堀江和博新町長にインタビュー

子育て施策と教育環境のさらなる充実に取り組みます

聞き手・加藤 和幸 委員



7月5日に行われた日野町長選挙で、町議二期目の堀江和博氏（36歳）が新町長に選ばれました。編集部では新町長に取材しました。

—ご当選おめでとうございませう。激戦で投票率も高くなりましたが、ずばり勝因は何だったとお思いですか？

世代を問わずより多くの皆様が、新しい町政を望まれたものと重く受け止めています。

—公約は藤澤町政を継承するものも多いようですが、「堀江カラー」でまず取り組みたいことは何ですか？

「声を聞くこと」からと考えています。様々な課題や現場の声をうかがい実態を把握し、私の想いも含め適切な施策を講じていきたいです。

—堀江さんに投票された町民はその若さや可能性に期待された方が多いと思いますが、若い世代や子育て世代にどんなお約束を考えておられますか？

子育て施策と教育環境のさらなる充実に取り組みます。「滋賀県で一番」と言われる町を目指します。

—人口流出を食い止めるためにも若者に魅力のある町づくりをどうしようとしておられますか？

住宅開発など住む場所の確保と企業誘致などの雇用確保のほか、若者のチャレンジへの支援などを考えています。

― 選挙戦では、学校給食の直営
自校方式や学童保育所について
はこれまで通り進める、とおつ
しゃいしましたがそのお気持ちに
変わりはありませんか？

はい。学校給食の直営自校方
式と学童保育所はこれまで通り
の体制を維持し、進めてまいり
ます。

― 財政問題ではどのようなこ
とをお考えですか？

財政計画をしっかりと立て、ふ
るさと納税制度などを活用した
財源確保に積極的に取り組みま
す。

― ふるさと納税の活用をおつ
しゃっておられましたか、具体
的な進め方はどうされますか？
農業者・工商业者の方々と連
携して返礼品を選定し、できる
だけ早期にスタートをしたいと
考えています。

― SDGs（持続可能な開発
目標）の町政への導入をおつ
しゃっておられましたか、具体
化のお考えは？

環境保護や貧困対策の他、持
続可能でエシカル（倫理的）な
施策を実質的に取り組んでいき
たいと思います。

― 議会改革特別委員長として
タブレット導入などを提唱して
おられましたが、町政における
ネット活用などは？

最新の情報通信技術は、業務
効率化や情報共有に効果的と考
えています。タブレットを含め
検討してまいります。

― 今回のコロナウイルス禍で
教訓とすべきことは？

日頃の危機管理体制だと思ひ
ます。これは地震・風水害の防
災にも通じることです。

― 町政運営にあたって常に念
頭に置いておきたいことは？

選挙が終わればノーサイド。
全ての町民の皆様の幸せのため
に全力を注ぎたいと思います。

― 「一生日野」をキャッチフ
レーズにしておられますが、そ
の思いをお聞かせください。

一生日野に住む者として、私
には責任があります。しっかりと
と次世代に町を引き継ぐ想いで
す。

― 大変お忙しいところをあり
がとうございました。ご活躍を
期待しております。



新町長のプロフィール

- 堀江和博（ほりえ かずひろ）
- 昭和 59 年生
- 日野町出身
- 民間企業や町議（2期）を経て、
7月11日から現職。
- 座右の銘 陰徳善事
- 愛読書 貞観政要

新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出され、個人はじめ会社、事業所、病院、学校など様々な立場にある人が、感染防止、の対策を講じられ、今もその渦中にあります。

そこで今回、多くの住民や事業所などがコロナの影響下で困られた事や様々な取り組みをされた事、また、今後困ると予想される事柄について、町や議会に対しての要望などを『住民の声』としてお聞きしました。



〔病院関係者〕

- コロナ問題で収益が大幅に悪化している。また、コロナ感染への警戒心から離職者も出ている。そして、感染防護用具も不足している。
- コロナ感染への対応や対策について、住民への周知が不十分だと思っている。感染に関し正しい知識の啓発に努めてほしい。
- 感染防止対策に取り組んでいる企業や医療機関等へ、形ある支援を検討してほしい。
- PCR検査センターの設置を検討してほしい。



〔幼稚園教諭〕

- 手洗い、消毒、室内はマスク着用、間を空けて食事など工夫している。スキンシップは安心感や信頼を築くため必要。やはり園は、密接、は避けられない。



〔保育士〕

- 保育園は保育士と園児、園児と園児のかかわりが子どもの成長にとって不可欠。それでも子どもたちが、密接、にならないよう時間と場所をずらすなど工夫した。
- 手洗い石鹸・消毒液・ゴム手袋・マスクなど、今まで普通にあったものが品切れで手に入らず困った。役場から消毒液やマスクを、また保護者やファミサポからも手作りマスクをいただいた。



〔病院勤務の看護師〕

- 職場ではマスクが今なお不足している。また、同僚の中には、病院勤務、というだけで、コロナ感染の疑いから家族まで差別扱いを受けたという人がいた。また、国も県も町もコロナ対応に関しては情報公開がいつも遅いと思う。



〔大型店舗関係者〕

- 学校が長期休校となったため、子どものいる従業員も居て、確保とやり繰りが大変だった。
- 商品供給が不安定で、紙類・マスク・粉ものなど何種類かの商品が品切れを起こし、客への対応で一部の店員にストレスが発生した。
- 商品販売に関して事実と異なる噂が流れており、自社も小売業全体も火消しの対応に追われた。
- 地域の行事や学校スケジュール等に変更があれば、その正確な情報の連絡や共有が重要。



〔介護施設職員〕

- マスクが手に入らず、何度も使う結果となった。今後、緊急事態に備え、町でのマスク確保をお願いしたい。
- 介護職員が万一、コロナに感染して出勤できない場合の職員不足の事業所に対して、町が中心となって介護施設間の効果的な連携について環境整備を構築してほしい。また今後、感染が疑われる職員が出た時の宿泊施設の確保をお願いしたい。
- コロナ感染対応による介護職員の不足は深刻な問題。一方、介護職員の「高齢化、も著しく、新たな職員の確保が難しい。そのため、地元(町内)で「介護職員初任者研修」の開催を町主体で実施してほしい。
- デイサービスも居宅支援サービスも利用者の感染に対する不安から、一部で利用の自粛があった。
- マスク着用による介護職員の夏季の暑さ対策への対応が難しい。



〔農業経営者〕

- 農業は、田植え・稲刈り・草刈りなど、ほとんどが一人でやる機械作業のため、コロナ感染の影響はありませんでした。しかし、年々耕作者が減少し、また高齢化して後継者不足は深刻です。コロナ不況で余儀なく廃業された方や離職された方の中で農業経験のある方や志のある方が、日本の農業を守るためにも「農業派遣作業員」として活躍していただくと有り難いです。また、コロナ不況を1つのチャンスと捉え、町が間に入って、農業経験者の「登録」「派遣」「賃金管理」などに協力して頂ければと思います。





〔学童保育職員〕

- マスクや消毒液が品薄になり、手に入らず困った。役場に相談し対応して頂けた。
- 長期休校に対し現在の施策では、指導員の体制や人員配置がうまく対応できず困った。
- 今回のコロナ問題で、学童保育については何度もニュース等で取り上げられた。小学校からは変更ある毎に相談や連絡を常にいただき、その点については運営がスムーズにできた。



〔障害者施設職員〕

- マスク・消毒液・介助用手袋が不足し、町や地域の皆さんや企業から多くの応援をいただき助かった。
- 滋賀県も3月2日から特別支援学校も休校となり、準備期間が無い中、障害児学童保育を8時から18時まで長時間開所せざるを得ない状況となり、その後更に休校が延長された時は心身ともに疲れ果て、町から県立養護学校に陳情していただき、学校で受け入れをしていただき助かった。
- 障害児は集団で生活しているので、感染が確認された場合、すぐに入院できるよう町から医療機関へ働きかけていただきたい。



〔妊婦と子ども〕

- 私はアパートで、会社員の主人と2歳の娘の3人暮らしです。6月に第2子を出産しました。入院中、コロナ感染防止のため「子どもは当院へ連れてきてはいけません」と言われ親元に預けました。しかし、娘は何度も「ママは？ママは？」と泣くので、親元も大変だったとのこと。退院まで1週間かかったので、その間、親子を引き離れた`コロナ隔離`は2歳の娘にとって残酷な日々でした。



〔窓口業務(役場職員)〕

- 窓口への来庁者の対応、および職場内での取り組みとして、カウンターに消毒剤の設置、カウンターや記載台の消毒、マスク着用の徹底、飛沫感染を防ぐため窓口に透明の遮蔽シートを設置した。ただ、このためお互いの会話の音が聞きづらく、来庁者にご不便をおかけした。



〔民間製造業〕

- 初期にマスクや消毒液の確保が難しく苦労した。
- 今後、第2波が来て学校などが突然休校になった場合、従業員で困る人がいるので、その支援策(子どもを預けられる場所の確保等)を明確にし、住民に知らせるべきではないか。



〔個人商店主〕

- 3月~5月は行事や祭、イベント等がコロナの影響で中止となり、また、公共施設への商品納入もカットされ、売上げがいつもより30%ほど落ち込み、厳しい経営状況となった。
- 祭り・法事等の冠婚葬祭の自粛、また、学校給食の納品の激減により店の経営が苦しい。
- 商工会や料飲組合は、今回の緊急対策の窓口になって下さり、指導を受けている。町から商工会に対する補助金等の継続をお願いしたい。



〔小学校教諭〕

- 突然の臨時休校は、学校現場にとって戸惑いが大きく困惑した。生徒の「臨時預かり」については現場から様々な声が聞かれた。
- 給食の提供は全国では4%とのことだが、良かった。ただし、毎日食数が変わり大変だった。
- 水泳学習が出来ず、生徒たちの夏の楽しみを奪ってしまい申し訳ない。
- 年度途中で学習支援員の人材確保に苦慮した。
- コロナの対応で、従来無かった物品の購入予算の確保をお願いしたい。
- 臨時休校中、学童保育との連携をとって頂き有り難かった。



〔中学校教諭〕

- 学校は年間計画に基づき授業等を進めるので、コロナによる臨時休校は計画が狂い大変だった。
- 緊急対応として学習支援員を町で配置していただき有り難かった。ただ、人材確保は難しかった。
- 計画していた学校行事が中止となり、特に3年生にとっては思い出が少なく心配だ。



〔生徒保護者〕

- 4月・5月は自宅待機で家族が皆家に居て食費代がかさんだ。また、電気代・ガス代・水道代も増え、引き落としが心配だ。
- 公共施設のトイレは、点灯・使用後の排水・水道での手洗いは、すべてセンサーで可動するように改良してほしい。

ご回答いただきました皆さまへ

ご多忙中、ご協力いただきありがとうございます。たくさん感想をいただき、紙面上は取りまとめ掲載しましたが、すべての内容は、議員間で情報を共有するとともに、行政側にも報告し、ご意見等については対応を検討されるように要請致しました。

新型コロナウイルス 議会の対応について

日野町議会では新型コロナウイルス対策として以下の取組みをおこなっています。

議会運営

議員並びに役場職員はマスクを着用し、体調不良の場合は必ず申告し欠席対応とすることとしています。役場4階各所に、アルコール消毒液を設置するとともに定期的な換気を実施しています。全員協議会などの会議についても、議員間のスペースを広く確保するとともに、できるだけ長時間とならないよう、簡潔に会議が進むように心がけています。

本会議

議場では、議員席・執行部席ともに1席ずつ空けて座るようにし、発言席には透明アクリル板を設置しています。役場執行部の出席人数も最小限にとどめ、出席しない職員は別室にてモニターで視聴し待機する対応をとっています。傍聴席も1席ずつ空け、人数制限をおこなっています。

啓発・要望活動

4月21日には「日野町議会から町民の皆様へ」と題したチラシを町内全戸に新聞折込みをさせていただき、「3密を避ける」等の啓発活動をおこなっています。また、4月下旬には、日野町議会各会派より、役場執行部に対し新型コロナウイルス感染症対策・経済対策などの要望活動もおこなっています。

議会改革特別委員会

今春実施予定であった「住民の皆さんとの意見交換会」の実施を延期する対応をとっています。また、作成中であった「日野町議会災害対応方針」に、新たに新型コロナウイルス感染症対策の項目を設けることを決定し、内容についての協議を重ねています。

議員報酬の10%カット

新型コロナウイルスの影響による諸事情を鑑み、議員全員の議員報酬カット（7月から10月までの4ヶ月間、報酬の10%カット）を全会一致で可決しました。カットした予算は、「上水道料金の基本料金無料化施策」に充てることとしています。

**引き続き、日野町議会議員一同、
新型コロナウイルス対策に取り組んでまいります**

補正予算トピックス

Topics

5月臨時議会で可決された補正予算についての多くは既にご案内済みのため、詳細は割愛させていただきます。詳しくは「広報ひの6月号」をご覧ください。

「広報ひの6月号」新型コロナウイルス感染症に関する支援策

<http://www.town.shiga-hino.lg.jp/cmsfiles/contents/0000005/5073/2-5.pdf>



<補正予算の規模と財源(5~6月)>

	5月臨時会 5月補正	6月定例会 6月補正	6月定例会 6月補正(追加)	5月・6月 補正予算合計 額
一般会計	23億2312万 8000円	9500万 9000円	1億1202万 6000円	25億3016万 3000円
うち国・県補助	22億8859万 2000円	3374万 5000円	550万円	23億2783万 7000円
うち町財源等	3453万 6000円	6126万 4000円	1億652万 6000円	2億232万 6000円
国民健康保険特別会計	110万円	0円	0円	110万円
水道事業会計	0円	50万円	0円	50万円
合計	23億2422万 8000円	9550万 9000円	1億1202万 6000円	25億3176万 3000円
うち、新型コロナ予算	23億2169万 8000円	9550万 9000円	1億1202万 6000円	25億2923万 3000円

<6月補正予算の主な内容>

①経済・生活

- 水道料金の基本料金減免6か月(議会の修正により4か月から6か月に延長)
- 全町民に対し、1人あたり3,000円の地域商品券配布
- 売上減少率20~50%事業者への支援金(限度額20万円)

②子ども・教育

- 小中学校1人1台パソコン整備の前倒し(滋賀県で取りまとめ共同購入)
- 学習支援員・学校活動サポート要員の増員配置
- マスク・消毒液・非接触型体温計の配備

③防災

- 避難所用テント型パーテーション整備(700セット)

④手当・報酬のカット

- 町三役(町長・副町長・教育長)

内 容	6月期末手当全額減額
目 的	一般財源へ充当

- 町議会議員全員(※議員提案)

内 容	報酬月額10%×4か月減額
目 的	水道料金の減免を町長提案の4か月から、議員提案により6か月に延長するにあたり、一般会計で必要となる一般財源相当分に充当を希望するもの

ここに注目！委員会の報告

予算特別委員会

- 令和2年度6月補正予算（新型コロナウイルス感染症対策第2次分）と補正予算追加分（新型コロナウイルス感染症対策第3次分）を審議

歳入では、国や県からの支出金と町の財政調整基金を一般会計に繰入れることにより財源を確保する。

歳出では、主に生活者支援策や小規模事業者支援策、幼児保育から学校教育支援策など、細部にわたって施策の確認を進めました。誰一人取り残さないこと、スピード感ある対応を求めました。

予算特別委員会と厚生常任委員会

- 日野町一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議

- 日野町簡易水道特別会計補正予算および日野町水道事業会計補正予算に対する修正動議

高橋議員より新型コロナウイルス感染症対策で、町が提案した水道料金基本料金の4か月間の減免に対して2か月間延長し、6か月間減免することを提案されました。予算特別委員会では賛成多数で可決され、厚生常任委員会では全会一致で可決しました。

水道料金の基本料金を6か月分減免 減免内容

基本料金1期（2か月）×3期分（6か月分）を無料

口径	減免金額
13mm	1期 3,520円×3期分 = 10,560円（税込み）
20mm	1期 7,040円×3期分 = 21,120円（税込み）

- ・アパート等の集合メーターは、全口径が対象となる。
- ・甲賀市給水区域においても、基本料金を町が補助する。

総務常任委員会

- 日野町防災情報伝達システム整備事業について

日野町版防災アプリの整備、防災行政無線および戸別受信機の整備を進めるものです。日野町役場に親局を置き、各地区七つの公民館と小野・西明寺・熊野を屋外拡声子局とし、デジタル化するものです。年内には各地区に説明会に入る予定で進められます。

地方創生特別委員会

- 企業誘致、鳥居平工業団地に工場建設決まる

進出される企業の豊通ペトリサイクルシステムズ(株)は、豊田通商(株)の傘下で飲用ペットボトル原料ペレットのリサイクル製造工場です。稼働時期は令和4年3月を予定されています。



建設が予定されている鳥居平工業団地

- 西大路定住宅地整備事業は、8月末から敷地造成工事に着手となる

今年3月には、土地売買契約書への調印を終え、所有権移転登記が完了しており、開発許可申請によりいよいよ工事が始まります。24区画（61.3坪～70.7坪）の整備が進められます。

令和2年6月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名		質問内容	
1	山田 人志	1. 経済・産業についての政策論議	P.10
2	高橋 源三郎	1. 新型コロナウイルス感染拡大の第2波への対応は	P.11
3	山本 秀喜	1. 地方自治体（日野町）のコンプライアンスは 2. (株) 平和堂日野店の跡地購入交渉経過は 3. 西大路中野城址の保全・整備について 4. 日野町地域防災計画について	P.12
4	堀江 和博	1. 新型コロナウイルス 学校教育について	P.13
5	後藤 勇樹	1. 新型コロナ、日野町の対応を問う 2. 公職選挙法を通して政治家の資質を問う	P.14
6	加藤 和幸	1. 新型コロナウイルス感染症のこれまでの対応と今後の課題について（教育・福祉・地域コミュニティ）	P.15
7	中西 佳子	1. 高齢期の生活支援の充実を！ 2. 今後の災害対応について	P.16
8	齋藤 光弘	1. 新型コロナウイルス感染症対策の支援事業は 2. 中山間地域等直接支払交付金制度の実施は	P.17
9	谷 成隆	1. 新型コロナウイルス感染症対策について	P.18
10	西澤 正治	1. 新型コロナウイルス 小中学校、生活、税制面での対策は	P.19
11	池元 法子	1. コロナ危機対策とこれからの日野町のあり方について	P.20
12	野矢 貴之	1. 未来を担う人材への投資はどうなっている？ —社会教育・人材育成—	P.21

本会議の様様をインターネットで配信しています。
(ライブ中継・録画中継)
右のQRコードを読み取ると一般質問の録画が視聴できます。



日野町議会インターネット中継

検索

経済・産業についての政策論議



山田 人志 議員

問 日野町政では経済政策にあまり関心がないのか、議員の立場で地域経済振興や産業政策の話をする機会はほとんどありません。

答 しかし、経済・産業政策は、まちづくりの重要な土台であり、今回の新型コロナ事態が落ち着いた後、世の中は大きく変わるかもしれないので、地域経済のあり方について根本の理念から見てみる機会ではないかと考え、一問一答で政策論議をさせていただきました。

問 小さな町の経済を考えるうえで基本は政策理念なので、日本の経済政策（アベノミクス成長戦略）をどのように見ているか聞きたい。

答 国民が豊かさを実感できていない。また、コロナ事態で都市の脆弱性も現れた。

自国中心に陥る市場経済至上主義から自然との共生など心豊かな社会に転換する経済活動が望まれる。

問 大企業・中堅企業が日本の雇用と消費の大半をつくっているが、大企業向け政策の根っこにある構造改革路線（新自由主義）をどう思うか。

答 正しいルールに沿った競争が大事で、雇用を中心に置いて社会の問題として見ておかなければならない。

問 日本の経済政策は、いつ頃から構造改革路線を理念に置くようになったと感じているか。

答 一億中流と想っていた時代があったが、近年では格差を感じるようになった。その頃に変化したのではないか。

問 グローバル経済に乗った構造改革路線が今回の新型コロナ事態で総崩れになった。

コロナ後は、地域社会を形づくっている小規模事業者への政策がより重要になると思っていますか。

答 地域に根差した小規模事業者が、これまで以上に地域のニーズを掘り起こし、地域社会を持続させることが重要である。

問 その小規模事業者に共通する問題が事業承継であるが、日野町で進めている施策を聞きたい。

答 商工業では、経営革新などに取り組んでいるものの、事業承継は難しいと聞いている。農業では、就農希望者の支援をはじめ、多様な農業経営者の育成を関係機関と連携して進めている。

問 小規模事業者は、地域の資金循環に貢献して地域社会を形づくっているが、現状の把握はできているか。

答 産業連関や地域内乗数効果に関する情報は得ていないが、町の公共投資や物品購入等で地域内に資金が循環し、効果が発揮されることを期待している。

問 町内に進出している工場等に対し、道路事情の改善など社員が働きやすい職場環境を提供する必要はないか。

答 町道、県道、国道などのインフラ整備を進めるとともに、企業懇談会を通じて、企業側のニーズの把握に努めている。

要望 進出企業から出される要望に対応することで、地元雇用・地元消費の拡大に係る企業の協力につながるよう、戦略的な取り組みを期待する。

議員のコメント

どのような社会を目指すにしても、裏表の関係で、必ずその社会に応じた経済のカタチがあります。そのカタチを考えると、行政として大事な仕事のひとつです。

新型コロナウイルス感染拡大の第2波への対応は



高橋 源三郎 議員

新型コロナウイルス感染拡大の第2波への対応は

問 5月25日に「緊急事態宣言」は全面解除となったが、これで感染拡大が収まった訳ではない。第2波や第3波が襲ってくる可能性がある。

現に、今から約百年前の1918年〜1920年にかけて発生した「スペイン風邪」では、全世界で5億〜6億人が感染し、4千万〜5千万人が死亡したと言われている。日本ではどうかと言くと、百年前のことで数字に多少幅はあるが、それでも感染者は約2300万人、死亡者は約38万人と言われている。この数字は当時の日本の人口規模からすると、感染率は約40%、死亡率は感染者の約1・6%と言われている。さらに死亡率を10万人規模で表示すると約660人となり、これは日本にとつて「甚大な被害」であった訳です。この時、第1波、第2波、第3波の周期は

いずれも6カ月間隔で襲ってきたとのこと。

以上、スペイン風邪の記録を参考にした時、今回の新型コロナウイルスの感染拡大の第2波は、日本では2月に始まったことを考えるとその6カ月後となり、この夏の「8月頃」になるのではないかと予測される。万一そうなった場合、再び緊急事態宣言が出されると思いますが、それは丁度、学校は夏休みの真っ只中であり、9月からの2学期の登校も危がまれるところで。もしそうなった場合の対応として、次の4点についてお尋ねします。

- ①小・中学校でインターネット授業は難しいと思いますが、実現の可能性は。もし実現が困難な場合、生徒を2班に分けて授業を行うことは出来るのか。
- ②もし再び、9月から学校を長期休校せざるを得なくなった場合の授業の方針は。
- ③民間企業や商店等に対して

再度「営業自粛」や「休業」等の要請が出された場合、町独自の財政的支援はどうか。

④同じく、営業自粛や休業要請により、町税収が一定の率「減収」となった場合や、更には地方交付税が減額された場合はどのような対策を考えておられるか。

答 ①インターネット授業、いわゆるオンライン学習には3つの課題がある。1つはネット接続環境が至急に整えられるかどうか。2つ目は効果的な指導の工夫に対する教職員の力量形成とそれに要する時間の問題。3つ目は小・中学生が自宅でコンピュータに向かって自主的に集中して学習ができるかどうか。以上様々な課題が考えられる。なお、生徒の2班体制の授業は、教室や教師不足で不可能。

②再度の長期休校は考えにくい。が、万一、教師や生徒またその家族に感染者が出た場合は、該当校のみ臨時に数日間休校とする。(②は以下答弁略)

③国や県が休業要請等を行った場合は、国や県が対策を講じるべきもの。また、状況を判断して町独自の財政的支援が必要な場合は、躊躇なく対策を講じる。支援の期間はその際に検討する。

④第2波により営業自粛や休業要請が行われた場合、法人町民税は税収減が予想される。その場合、地方財政法の一部改正により猶予特例債が創設され、一時的な減収を埋めるための猶予相当額について特例債で対応できる。また、財政調整基金も活用する。また、地方交付税は行財政水準を維持するためのもので減額は想定していないし、あってはならないと考える。

議員のコメント

全国一律の休校ではなく、各学校の現状に即した対応として、毎年冬期に流行るインフルエンザ並みの対応でよいと思う。義務教育を長期間止めてはならない。

地方自治体（日野町）のコンプライアンスは （株）平和堂日野店の跡地購入交渉経過は 西大路中野城址の保全・整備について 日野町地域防災計画について



山本 秀喜 議員

日野町のコンプライアンス（法令遵守、公正・公平・中立の姿勢）は

問 地方自治体のコンプライアンスとして求めるものは、

(1) 社会全体、地域全体に対して、公正・公平・中立の姿勢が不可欠であること。
 (2) 法令に基づく自治体経営ができていないこと。
 (3) 不正・不祥事を防止することが上げられます。これらについて、町の姿勢や取り組みについて伺いました。

答 ①現町政運営で法令等の遵守のみならず、公正・公平で透明性がある業務執行ができて

問 ②障がい者雇用の法定雇

答 法令等の遵守はもちろんのこと、公正・公平かつ透明性がある業務を執行しています。日常の業務では、複数の職員がチェックする体制を整えており、住民や社会の要請状況を勘案して進めています。

用率2.5%は満たされているか。

答 町の障がい者雇用率は、6月1日現在、3・59%と法定を上回っています。

問 ③働き方改革による時間外

答 規則において時間外勤務を命ずる時間および月数の上限を定め、必要最小限の時間外勤務を命ずることとしています。

問 ④便宜的な計らいや不当な要求行為の発生はないか、不正・不祥事の案件はないか。

答 各部署に不当要求防止責任者を配置し、未然に防止する体制を整えており、事案の発生はありません。

（株）平和堂日野店の跡地購入交渉経過は

問 住民の方から経過が待ち遠しいとのお話があり、交渉経過や取得について伺いました。

答 （株）平和堂との協議を整え、秋頃には取得できます。整備に当たっては、企業版ふるさと納税制度の活用を考えています。

西大路中野城址の保全・整備について

問 中野城址は歴史・文化の多い日野町にとって、由緒ある場所として親しまれてきています。

3月1日に「中野城址の保存・整備を考える集い」が開催され、このままの放置はできない、何らかの形で保存・整備を進めなければならない、安全対策もしっかり進めなければならない、との思いが一致しました。現時点での町の考えを聞きます。

答 町としても、地域の皆さんと一緒に進めたいと考えています。



整備が望まれる中野城址

地域防災計画「感染症対策・原子力災害対策」について

問 日野町地域防災計画（地震災害対策・風水害対策）（原子力災害対策）があるが、新型コロナウイルス感染症に関連した「感染症対策」が必要では。

また、原子力災害対策で、万が一、原子力災害が発生した場合の「安定ヨウ素剤」の服用について、町の見解を伺いました。

答 新型コロナウイルス感染症は、国の新型インフルエンザ等対策ガイドライン、町の行動計画にて対応しています。

原子力災害対策は、県の拡散シミュレーションでの重点地域ではないものの、安定ヨウ素剤の備蓄をしており、原子力規制委員会、医療関係者の判断・指示により配布、服用されます。

議員のコメント

この議会だよりが発行される頃には、新型コロナウイルスが終息していることを願っています。

新型コロナウイルス 学校教育について



堀江 和博 議員

問 新型コロナウイルスの感染拡大により、小中学校では3か月間の休校となりました。6月より登校が再開されましたが、学習の遅れなど様々な課題が残されています。そこでお伺いします。

答 まず、未履修となっている内容を正確に把握し、精査した上で、時間をかけて指導する内容、時間配分を減らしたり、他の内容と組み合わせる内容などに分類し、年間の学習計画を再構築し、学習の遅れを取り戻す。授業時間の不足については、夏休み冬休みの短縮や学校行事の見直しなどで時間を生み出す工夫を行い、家庭訪問や懇談会の持ち方、教職員の研修会や会議の持ち方を見直し、少しでも時間を生み出し、小さな積み重ねも大事にしながら指導時間の確保に努めている。

問 登校を控える生徒がいた場合の対応は。

答 登校を控える申し出があった場合、十分に相談させていただく。その上で登校を控える判断をされた場合、インフルエンザ等で学校への出席が停止になる「出席停止」と同様の扱いとし、「欠席した」とは数えないことにする。これは文部科学省も示している方針に沿う形である。

問 生徒や保護者のストレスケアは。

答 一見元気に登校できていても、長期の休校が続いたことやその後の学校再開による生活リズムの立て直しには、大きなエネルギーが必要であり、ストレスとなっている児童生徒も多くいることと思う。各学校で子どもたちとの教育相談を重点的に行ったり、保護者の方の相談に応じたりして、ストレスケアに努めたいと考える。



生徒に対する丁寧なケアが求められている

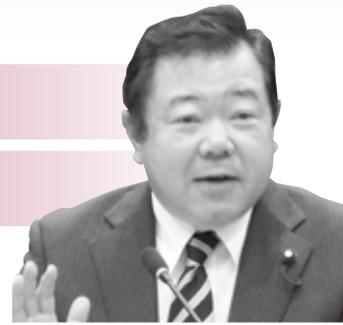
問 熱中症対策は。

答 日野町の各学校はエアコンが完備されているので教室での学習については対応できると考える。水分補給については、授業の途中に声をかけて意識的に水分をとる時間を設けることも必要となり、保護者には十分な量のお茶を持たせてもらえるよう改めてお願いしたいと思う。しかし、暑さが厳しい時期の登下校については心配される。授業が早く終わる低学年の児童も、上級生が終わるまで待つと一緒に帰るようにする、一番暑

い時間帯の下校を避けて、しばらく学校で待機した後で下校させるなどの配慮を行います。このときには、新たに増員した学習支援員が中心となって図書館等で見守りを行い、宿題の指導等を行うことで、帰りが少し遅くなっても児童の負担が増えないようにするとともに、教員が翌日の授業準備などの業務に当たる時間も確保できるようにサポートします。なお、各学校にペットボトルの水を用意し補給できるようにします。他にも日傘をさす、大きな帽子を着用させるなど様々な方法で対処していきます。

議員のコメント

現場ではイレギュラーな対応が増えていますが、生徒の立場に立った丁寧な対応をお願いしたいと思います。特に生徒のストレスはなかなか表面化しにくいいため、生徒の表情や体調に気を配っていただき、適切な対応をお願いしたいと思います。



新型コロナ、日野町の対応を問う

公職選挙法を通して政治家の資質を問う

後藤 勇樹 議員

世界を震撼させている新型コロナウィルスの対応を問う。

問 新型コロナウィルスの収束は現在も予想できない状況にある。インフルエンザでは例年国内で3000人以上が亡くなり、月に50人以上が亡くなることもあるが、感染者数も死者数も少ない新型コロナは、なぜこれほどまで脅威とみなされているのか。うがい、手洗い、マスクが徹底された今年のインフルエンザ罹患者は減少したか。竜王町はコロナ対策として5月19日時点で町費を8790万円投じているのに対し、日野町は2453万円と約3.6分の1であった。町民1人当たりで見ると竜王町7365円に対し日野町は1144円と約6.4分の1。その後補正予算も組みまれているが、なぜ早い段階でしっかりした対策を講じられなかったのか伺う。

答 (総務課・福祉保健課)

インフルエンザ感染者は今年に入り5月24日までの統計では東近江圏内で半減している。新型コロナウィルスが怖いのはワクチンや治療薬が無いこと。しかし一般的な風邪も特定の治療薬等はないのが現状なので、今後、新型コロナウィルス治療薬やワクチンが作られないことも想定した上での生活を考える必要もある。竜王町の新型コロナ対策が先行したのは、そのために議会開催を早められたから。現在(6月11日現在)補正予算を計上している。国からの国民1人あたり10万円の特別定額給付金支給や周辺自治体の動向を見極めた上で対応をするというのが日野町の判断である。

町長選挙が近づいているが、日野町選挙管理委員会書記長でもある総務課長に公職選挙法について伺う。

問 公職選挙法は私たち政治

家を守るべき規範である。

5月19日、ワンチーム日野さん設置のポスター掲示板が破壊された。また町内の妊婦さんへのマスク配布時、「藤澤直広」と筆文字入りのメッセージが併せて届けられた。同様の行為をした栃木県足利市長に県選管は「望ましくない」との見解を発表している。さらに「あなたか日野町みんなの会・藤沢なおひろさんを励ます会」のチラシには、町から観光大使の委嘱を受ける「しゃくなげ大使」の写真が掲載されている。チラシ裏面には、日野レスリングクラブのロゴ入りシャツ着用の方々が藤澤氏と共に写真に写っている。日野レスリング協会会長や指導者の方からは、掲載許可を出していないとの言葉をいただいている。写っている人に指導者の方が尋ねたところ、チラシに載ると聞いていないとの回答が得られたと

聞く。そうであれば明確な著作権及び肖像権の侵害に当たることが大きい。写っている人物中、3人は教職員を含む公務員である。また藤澤氏は無所属であると言いつつおられるが、日本共産党のホームページには「共産党が与党の自治体」というページに「滋賀県日野町」「藤澤直広」とはっきり公式に明記されている。以上の事案や行為に対し、町選管の書記長である総務課長の見解を伺う。

答 (総務課長)

ポスター掲示板損壊については警察に届けられるのが適当である。その他の問題については選管としても総務課長としても何かを申し上げることはできない。

議員のコメント

新型コロナ対策は今後もスピード感を持って当たっていただきたい。町選管の書記長(総務課長)については、言葉を失う対応である。

新型コロナウイルスのこれまでの対応と今後の課題について (教育・福祉・地域コミュニティ)



加藤 和幸 議員

問 (教育分野)

①全国一斉の学校休校要請が出された時、即座に学童保育の時間延長がなされ、その後段階的に「学校預かり」や家庭での見守りに対応。こういう措置を可能にした要因は何か。

②この間も県内では野洲市と日野町のみが学校給食を実施。これを可能にした要因は何か。
③今後、第二波、第三波の流行にはどのように対応されるか。
④⑤⑥学習面の遅れを取り戻す施策。合唱、実験、水泳など中止もしくは大幅縮小を余儀なくされる分野の代替・回復措置。困難な状況下の子どもへの対応を伺う。(一部他議員と重複)

地域や家庭の協力と自校方式の給食で対応

答 ①急な対応に迫られ、当初は学童保育や障害児学童が朝から子どもたちを受け入れ支援していただいた。また、ご家庭も学童の極端な負担を避けるため協力してくださる中で学年末の

混乱を乗り切れた。4月以降は、希望者に給食の提供、学校での「預かり」、分散登校など一連の協力体制は町独自の取り組みとして大きな成果に結びついた。
②学校給食が直営の自校方式であるため、調理や食材の調達、保護者の希望調査など臨機応変に対応できた。

③町内の学校で感染が発生した場合、給食も停止。めどが立てば今回の経験を活用。
④⑤⑥(一部略)長期休業の短縮、指導計画の練り直し、学習支援員の増員など。詰め込みにならないよう、体育や芸術も工夫する。2年間通して学習目標が設定されるものは次年度に回復。小中間連携もしっかり行う。不登校傾向や発達障害のお子さん等は環境の変化に対応しづらく、学習への困り感やストレスが予見される。国や県からの支援、町独自の支援員増員で対応。関係機関や専門家と連携した相談体制をとる。

福祉、地域コミュニティ

問 ①「三密を避けよ」「ステイホーム」が流行語になっ

たが介護の分野では「密」は避けられない。介護従事者や利用者は開所や利用の是非などについて苦しい選択を迫られてきた。

介護施設のあり方、利用者のあり方について当事者が追い詰められることのないような指針が必要と思われるが、どうか。
②テレワークやオンライン会議が推奨され、町内でも「会合中止、時間短縮」「文書決裁」が急増。それは意識変革にもつながり、議事の効率化など思いがけない効用ももたらした。

一方、会議や決定の軽視、福祉行事の縮小など延いては地域コミュニティの希薄化に拍車がかかりかねない面もある。「ステイホーム」というのは視点を変えれば「孤立化」である。コロナが収束したら、地域コミュニティも崩壊していったというようにならないか。ないためにどうすべきか。

ほどうい田舎の良さを再認識し、地方自治の成熟を

答 ①介護サービスは、高齢者

議員のコメント

新型コロナウイルスは医療体制のみならず、地域社会のあり方全般を私達に問うものとなっている。効率優先、強者優位の社会から、だれもが大切にされる社会づくりのきっかけにしたい。

の閉じこもりを防ぎ、心身の機能を維持する目的があり、その役割は重要である。国や県から感染症対策にかかる通知文が出されており、町内でも対応にご努力いただいている。十分な対策を前提に必要なサービス提供が行われるようお願いさせていただく。
②地域での行事や会合の見直しなどコミュニティの維持について懸念される。しかし、終息後の社会に求められるものは、自然との共生、経済至上主義から心豊かな暮らしへの転換、互いに助け合って生きる地域共生社会の実現、民主主義とそれを身近に実感できる地方自治の成熟だと考える。日野町のほどうい田舎の良さを再認識し、行事や会議の持ち方についても考えるきっかけづくりとし、世代をつなぎ、だれ一人孤立することなく、豊かに暮らせる安心な町づくりを進める。



高齢期の生活支援の充実を！

今後の災害対応について

中西 佳子 議員

高齢期の生活支援の充実を！

問 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に、新しい生活様式が提言されました。今後も収束するまで長丁場が予測されます。日野町は高齢化率も高く、一人暮らしの高齢者の方も大変多く、人とのコミュニケーション不足や食事面、運動不足など、懸念される。町民の命と健康生活を守る対策を伺う。

①介護施設・事業所への町の支援事業状況は。

②医師や看護師、介護関係者が自宅訪問、診療や介護サービスへの支援策は。

③在宅介護を担う家族への支援は。

④一人暮らし高齢者の孤立防止安否確認、見守り体制は。

⑤自粛等の影響で心の不安や体力低下等、相談体制や健康づくりへの取り組みは。

答 ①介護施設・事業所にマス

クを配付した。県からのマスク、消毒液も取り次いだ。介護サービス事業所等と情報共有している。

②マスク等の配付を行った。

③介護者同士の交流の場「ほっこりカフェ」は感染対策を講じた上で休まず開催した。訪問時間の短縮や電話確認などの対応をしながらも連絡を取り、利用者や家族に寄り添った支援が続けられた。

④民生委員の訪問や地域のサロン等が、地域の見守りの役割を担っていたにしている。

⑤地域のサロン活動やおたっしや教室などの取り組みを進めている。

コロナの影響からサロン開催の悩み等は、生活支援コーディネーターが応じている。地域包括支援センターでは、作業療法士が感染症に注意しながら、訪問支援を継続している。

今後の災害対応について

問 梅雨、そして台風シーズ

ンを迎えます。災害対応、避難体制の構築が必要で。特に避難所では、消毒液、マスク等の準備や3密を防ぐため、間仕切りなど住民間の距離の確保が重要です。そこで避難所や備蓄品の整備について伺う。

①指定避難所を27か所指定しているが、どの施設にどの地域が避難するのか、住民に周知されているのか。

②多くの人の避難所となるホールや体育館の、換気扇や空調設備は整っているのか。

③各公民館の備蓄品は何人の何日分の想定か。他の20か所の施設に備蓄品の配送体制は。

④今後の備蓄品について、消毒液やマスクの備蓄は。現在乳幼児用オムツはあるが、粉ミルクや液体ミルクは備蓄されていない。備蓄されない理由は。

答 ①災害が起こる恐れがある時に避難行動等の情報を周知する。複数の避難所を開設した場合は、避難先を指定するのはな

く、災害の規模に応じて、避難所を順次開設していく。

②多くの人が避難できる体育館は、空調設備は整っておらず季節に応じた換気を実施することで対応したい。

③各公民館には応急用として缶入りパンや飲料水を配置しており、避難人数を想定したものでない。避難者数に応じ、防災センター備蓄倉庫から飲料水等を職員が配送する計画となっている。

④備蓄品について、コロナウイルス感染症対策として、消毒液とマスクを確保している。今は、粉ミルク、液体ミルクとも保存期間が短いことから備蓄をしておりません。今後、備蓄に向けて対応していく。

議員のコメント

誰もが、安心して暮らしていける町づくりを願います。災害はいつ起こるか分からない。台風や地震について、危機感を持って防災・減災計画を進めていただきたい。

新型コロナウイルス感染症対策の支援事業は 中山間地域等直接支払交付金制度の実施は



齋藤 光弘 議員

コロナ対策の第一次生活支援事業の取り組みは

臨時会で可決した23億円を超える第一次補正の生活支援事業についての取り組み状況を一問一答で質問しました。

問 特別定額給付金事業は。

答 92%を超える方に申請をいただいています。8百件余りの未申請世帯の方に対して事業の周知や申請支援を検討している。

問 住民向けマスク斡旋事業は。

答 斡旋するハガキを全世帯に郵送し、2千箱調達し、各公民館にて一箱2千円で斡旋販売しています。(購入2千5百円)

問 近江牛緊急支援事業は。

答 近江牛の生産基盤を守るために町内畜産農家への補助金交付を4月～9月の半年、県畜産振興協会が支払事務を行う。

問 鉄道等交通機関への影響は。

答 近江鉄道の鉄道事業の運輸収入は4月49%減、バス事業は4月45%減、全体で4月の営業損失は1億9千万円にもなる。地域の交通経営に甚大な影響を及ぼしている。

問 臨時休校中の学校給食は。

答 4月13日から5月29日の31日間、毎日2百食を1食2百円で提供。町直営自校方式であるからこそ、給食を提供できた。

問 学校教育の学習遅れ対策は。

答 夏休みを8月8日からの2週間、冬休みを12月26日～1月5日と短縮する。行事等は中止縮小する。学習支援員を増員するなど、放課後の補習体制を整えています。

問 国の2次補正予算の対応は。

答 各省庁の補助事業の他、地方創生臨時交付金で2兆円の増額が予定されている。1次補正と同じく、住民の抱える仕事や生活の不安に対し、時期を逃さず、速やかに対応することが大切と考えている。



感染対策の陰圧テント購入

中山間地域等直接支払交付金制度の実施は

町の取り組み状況を一問一答で質問しました。

問 現在取り組み進捗状況は。

答 机上での勾配、面積確認を終えたところです。今後、現地確認し、町内の該当農地を確定します。

問 該当集落はどのくらいか。

答 机上では11集落みている。

問 県への申請調整はどうか。

答 県には10月中旬に報告する計画で、まずは該当集落への説明会の開催に向けて、準備を進めているところです。

問 地元説明はいつ頃予定か。

答 7月末頃を予定しています。

問 来年度に実施できるのか。

答 来年度からの実施に向けて県該当地区と協議を進めていきます。

問 町長の見解を聞く。

答 棚田地域振興法が施行されたことにより勾配、面積要件を満たした地域は対象となったことから公平性が担保されたと考え令和3年度からの取り組みに向けて進めていきたい。

中山間地域等直接支払交付金制度の交付単価

地目	区分	交付単価(円/10a)	地目	区分	交付単価(円/10a)
田	急傾斜(1/20以上)	21,000	草地	急傾斜(15°以上)	10,500
	緩傾斜(1/100以上)	8,000		緩傾斜(8°以上)	3,000
畑	急傾斜(15°以上)	11,500	採草放棄地	急傾斜(15°以上)	1,000
	緩傾斜(8°以上)	3,500		緩傾斜(8°以上)	300

※棚田地域振興を図る場合、10,000円/10a加算(田、畑)

議員のコメント

コロナ対策支援事業が迅速かつ的確に実施されることを願います。今後も第2波の感染状況を注視しながら適切な生活支援策を実施されるようお願いしました。

今回のコロナ禍において日野町は、ほどよい田舎の良さをさらに発揮することが出来たのではないのでしょうか。その基盤となる農業を大切にする農業政策をさらに前進するものと期待しています。

新型コロナウイルス感染症対策について



谷 成隆 議員

問

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は解除されましたが、終息したわけではありません。気を緩めずに感染拡大の防止に向け、不要不急の外出を自粛して頂き、密閉・密集・密接の「3つの密」を避ける対策、うつらないで！うつさないで！手をよく洗い、消毒をし、マスクを付ける対策を個人や家庭、企業、団体が感染防止策を徹底したうえで、感染防止・社会経済活動を両立していかなければなりません。日野町においても、新型コロナウイルス感染症への対応として、5月補正予算と6月議会に予算を計上されています。そこで伺います。

②地域経済緊急支援事業で商

工事に予算を計上されましたが、商工会との連携について伺います。

③新型コロナウイルス感染症でここ数か月間で地域の絆、生活環境、経済の流れが変わっています。元に戻すには時間がかかると思います。町として何かサポート的な考えをお伺いします。

答 ①国の補正予算の内定を受け、各市町では事業者や町民の方々へ各種支援が講じられています。自治体によって、支援のメニューは様々、営業や雇用が止められ生活困窮者の方への支援、家庭で過ごす子どもを持つ世帯に対する支援、衛生用品の購入、住民の抱える仕事や生活の不安に対し時期を逃さず、速やかに対応する。

②商工会が行う支援金と商品券配布事業への補助金、商工会会員と会員外との公共・公益性の確保、地元小売業への経済波及

を考えると、議会での意見を踏まえ、事業内容の見直しと拡充により補助金を委託料に組み替える、商品券配布事業は、地域の方々の暮らしの応援と地域の活性化とし商工会に委託する。

③新型コロナウイルス感染症予防対策により、地域のつながりに変化、行事や会合の中止や縮小による地域経済への影響、社会のありようを一変させました。これを教訓に地域づくりに求められるのは、働き方の見直しや町の程よい田舎の良さを再確認し、世代をつなぎ、誰一人孤立することなく、豊かに安心して暮らせるまちづくりを進める事が大切。町としては情勢を見極め、引き続き必要などころに必要なサポートが迅速に届くよう対応する。

議員のコメント

新型コロナウイルス感染症は全世界中に猛威を振るい緊急事態宣言を発令しました。日野町においては感染者が出なかったのは幸いですが、初期の時点ですでに衛生用品（マスク）が品切れ状態になり住民の皆様が困っておられました。その時点で備蓄マスクの配布を実行すべきだったと思います。最近になりアベノマスクが届きました。



新型コロナウイルス 小中学校、生活、税制面での対策は



西澤 正治 議員

新型コロナウイルス感染症への町当局の対策を、小中学校、町民生活、税制それぞれの局面からたどりました。

問 本年1月16日、日本国内での初の感染者が確認され、2月3日にはクルーズ船で多くの感染者がでました。4月7日には7都道府県に緊急事態宣言が発令、4月16日には47都道府県に拡大されました。5月25日、緊急事態宣言が解除され、6月19日、全国の移動ができるようになりましたが、東京、北海道、九州では未だ収まっておられません。

日野町内には感染された方はおられません。不用の外出、マスクの着用、手洗いを、3密を避け、感染予防に今後も努めたいと思っています。町内の小中学校では休校が続き、児童のストレスや学業の遅れが心配される。町民の生活面では5月末より、国民1人あたり10万円のコロナ対策給付金の支給が始まり、6

月中旬には町内の9割の方に給付され、事業者へは休業補償、雇用支援と経済対策を進めていただいております。

日野町の税収も近年右肩上がり個人町民税、法人税も増収となっております。しかし新型コロナウイルス感染症の影響により、次年度には減収が見込まれることはほぼ確実となる事から、ふるさと納税の拡大を考えてみてはいかがでしょうか。日野町には返礼品として、日野菜、近江牛、日野菜漬け、酒、何でも地元産品があります。規制範囲内での政策を打ち出せば、町としても独自の財源確保が出来、近江日野商人の三方良しの根性が今こそ出せるのではないかと思います。町当局のお考えを伺います。

答 (教育長) 児童、保護者、教職員とも心労が重なっているが、学校の再開ができたことはとても嬉しく思う。今後、しっかりと教育相

談を行う、教職員の精神面でのサポートを行うなどの対応を取りたい。6月に予定されていた音楽祭等の行事は中止、春に予定されていた修学旅行は秋に変更して実施する予定。他の行事についても秋以降で実施できるよう調整中。運動会は規模を縮小して開催する予定。

答 (町長) 町内は製造業が多いので一部を除きテレワークは馴染めないが、今後仕事のあり方は変わっていくのではと思う。

答 (総務課長) 役場では職員を2班に分けて業務にあたったが、自宅業務が難しい職場については別室勤務とした。しかし様々な局面において難しさを感じた。この点は今後の課題。

答 (町長) 前年度に過去最高の税収入となったことは誠に喜ばしいこと。しかし来年度は新型コロナウイルスの影響で大幅な減収が見込まれるが、固定資産税などについては支援策を国費で用意されてい

る。法人税は現時点で不透明、個人町民税は今後の動向で見極めたい。地元産品を返礼品としたふるさと納税については検討はするが、税本来の主旨からしても地方財政の拡充という面では他の方法に力を入れるべきである。



議員のコメント

農政連でも日野の美味しいお米を、ふるさと納税でぜひ全国に広めてほしいという声が聞かれる。近江八幡市は毎年20億円ほどふるさと納税で税収を上げている。助けてもらうのではなく、目標を掲げたふるさと納税に取り組んでいただきたい。

コロナ危機対策と これからの日野町のあり方について



池元 法子 議員

新型コロナウイルスで日本と世界のあり方が問われている

問 5期目を目指す藤澤町長の日野独自のコロナ対策の取り組み姿勢、政治姿勢を問う。
新型コロナウイルスの世界的感染拡大で、国際的に政治と社会のあり方が根本から問い直される状況になっています。

今起こっている新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）は、人類の歴史の中でも最も深刻なパンデミックの一つになっていると言われ、このことで、「日本と世界のあり方はこれでいいのか」が問われています。
一つは、新自由主義ですべてを市場原理に任せて、資本の利潤を最大化し、あらゆるものを民営化しているという流れが、今のパンデミックによって破綻がはつきりしました。
二つ目は、資本主義のもとの格差拡大と環境破壊の問

題です。

日本でも、経済的・社会的に弱い立場に置かれている人々に大きな犠牲が強いられています。

その背景の一つとして、多くの専門家が共通して指摘しているのが、人間による無秩序な生態系への侵入・環境破壊、あるいは地球温暖化によって棲む場所を奪われた動物が人間と接触することで新しい感染症が出現したとも言われています。

このように、環境破壊を顧みることのない利潤第一主義という生産様式を変えなくては、今の新型コロナウイルスを終息させたとしても、また次のより危険なパンデミックに襲われる可能性もあることをしっかり見据えた対策、政治と社会のあり方を考える時ではないでしょうか。
忖度や、一部の人に左右されない、道理が通る公平公正な行政・政治こそ信頼の前提であることは、日野町でもま

た同様です。
①日野町独自のコロナ対策の、藤澤町長の取り組み姿勢を伺う。
②5期目を目指す藤澤町長の政治姿勢を伺う。

答 **市場経済至上主義から心豊かな共生社会へ**

①コロナ終息後に求められる社会は自然と共生をし、市場経済至上主義から心豊かな暮らしへの転換、助け合って生きる社会の実現が必要、日野町にはそうした環境と土壌があり、改めてほどよい田舎の良さを再認識している。

コロナ禍においても、わが町では、3月の学校休校には、学童保育所が朝からの受け入れを実施していただき、4月からは小学校での預かり児童への給食を提供してきた。

保育所、作業所、医療機関、介護施設でも感染防止を図り、継続していただけた。

町独自のコロナ対策では、暮

らしの応援、商工会との連携協力して事業者等への支援に力を注いだ。

憲法の理念を生かし、住民の命と健康、暮らしを守る

②こうした時だからこそ、憲法の理念を生かし、最大限の行政施策を講じて、住民の命と健康、暮らしと生業を守ること。

住民が主役、住民の声が届く公平公正な、開かれた町政をさらに前進させたい。

議員のコメント

このたびのコロナ禍で、私も日野町のほどよい田舎、人情味ある住民の関係の良さを実感し、日野町に住んでいることを誇らしく思っています。
これからも、一部の人の声に左右されない、町民が主人公の公平公正な町として発展されることを願い、議員としても力を尽くしたいと思っております。

未来を担う人材への投資はどうなっている？ — 社会教育・人材育成 —



※わかりやすいように、できるだけ簡単な表現に編集しています。

野矢 貴之 議員

〈人材への投資〉

① 社会教育

住民にわかりにくい社会教育の現状。社会の変化に対応できているのか質問した。

問 (A)社会教育とは？(B)社会教育団体とは？

答 (A)は、学校教育以外の教育・学習すべてが含まれる。(B)は、連合青年会やスポーツ協会・文化協会などである。

問 補助金交付団体の選定や事業評価はどうなっている？

答 社会教育委員に意見を聞き決めている。概ね同じ団体である。

問 政治・金融・課題解決のためのロジカルシンキングなど、知っておいた方が良くないないジャンルが多くある。それらは社会教育として新規参入できるのか？

答 新たな団体が活動をしていただくことは、好ましく、大事なことである。

② 人材育成

問 課題解決ができるような人材を育成するために実施していることは？

答 職員には、地域に出て住民の方と過ごすことで何ができるか考えて欲しいと伝えている。

問 社会教育団体等への加盟率も減っている中で、従来通りの方法で、展望は明るいのか？

答 展望は明るくないといけない。もっと住民が自由な発想で、自由にしてもらったらい。それが浸透していない。

問 マネージメントとしてそれでいいのか？計画は？

答 様々な施策の計画はある

が、住民に参画してもらう必要があるのが、最も適しているのは公民館の計画である。自発的な住民活動が良い社会教育であると考えられる。

問 役場内にノウハウがない時にはどうするのか？「できない」と平気で言っているのか？そのときどうする？

答 どうしたらできるのか常に考えるようにしているが、印象としては寄り添いが足りないのかもしれない。ルールにあてはめなければいけないことが多い、ルールを変えることについては、民意と実績がないと説明ができないというジレンマがある。

問 例を挙げると、公園のルールは時代の変化とニーズに対応できているのか？

答 なんとかできるように考え方をシフトしている。ルールは大切だが、検討をしていきたい。

野矢貴之のココがポイント！



社会教育について

大人になれば、すべてが社会勉強である。学校では教えてくれないこと、大人になっても教えてもらいにくいことを、楽しく学べる機会を整備していきたい。

人材育成について

人材育成は、自然、勝手におこなわれる、ということにどのくらい期待ができるだろうか？よくあることだが、具体的な計画性やカリキュラムはないようだ。民間との意識の乖離が大きいように思う。優れた人材を育成し、強い組織をつくる、それがマネージメントである。希望や願望で自主性を喚くより、計画と結果に責任を感じて欲しい。日野町の未来は住民次第かもしれないが、それを行政が言うのはいいかなものか。

次ページは

提出された議案と結果

第3回定例会（6月1日～23日）

町長提出議案	結果 (*1)	野矢	山本	高橋	加藤	堀江	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
人事（15議案）															
日野町農業委員会委員の任命 奥村文雄氏（中之郷）、田中嘉浩氏（別所）、廣瀬敬一郎氏（中道）、渡邊岩男氏（安部居）、田中治巳氏（猫田）、池田香氏（西大路）、岡友治氏（鎌掛）、加納文弘氏（川原）、井上順子氏（原）、森綾子氏（上野田）、吉澤嘉和氏（木津）、福井美智子氏（増田）、大杉恵一氏（松尾）、内田信夫氏（いせの）、馬場嘉一氏（山本）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結（2議案）															
町道西大路鎌掛線道路改良工事（その6） ◎工事場所…鎌掛◎施工延長…520m◎契約金額…1億2804万円◎契約相手方…サタ山善(株)日野営業所所長 西村泰三◎工事期間…令和3年2月22日まで	原案可決 (産業建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日野町防災情報システム整備事業 ◎工事内容…操作卓一式・親局1局・子局10局◎契約金額…1億2445万4000円◎契約相手方…東芝通信インフラシステムズ(株)関西支店支店長 高弘之◎工事期間…令和3年3月31日まで	原案可決 (総務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正（1議案）															
特別職の職員の給与等に関する条例 新型コロナウイルス感染症対策費用の財源の一部を確保するため、令和2年6月の特別職の期末手当全額を減額しようとするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算（4議案）															
一般会計（第3号）	修正可決 (予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計（第4号）	原案可決 (予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道特別会計（第1号）	修正可決 (厚生)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計（第1号）	修正可決 (厚生)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 修正可決について…高橋議員・後藤議員・野矢議員から一般会計補正予算（第3号）（案）について修正動議の発議があり、齋藤光弘厚生常任委員長から簡易水道特別会計補正予算（第1号）（案）と水道事業会計補正予算（第1号）（案）について修正動議の提出がありました。修正動議の内容は、新型コロナウイルス感染症対応で生活支援として提案があった水道使用料基本料金の減免を4か月からさらに2か月延長し、6か月とすることとし、それに伴う予算措置の修正を行ったものです。修正案に対して採決の結果、3議案とも賛成全員で可決しました。（修正以外の部分については原案可決）

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	堀江	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
人事（1議案）															
日野町議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例 新型コロナウイルス感染症対策費用の財源の一部を確保するため、令和2年7月から10月までの議員報酬を10%減額しようとするもの。（修正可決された一般会計補正予算（第3号）の増額分に充当することを希望）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(*1) 結果の下の（ ）は審議を付託した委員会・特別委員会の名称

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第2回臨時会（5月15日開催）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	堀江	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦	
専決処分（条例の一部改正）（3議案）																
日野町税条例および日野町税条例等の一部を改正する条例 関係法律の制定公布に伴い、所有者不明土地等に係る固定資産税の課税上の課題に対応するための改正他	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町介護保険条例 関係政令の制定公布に伴い、消費税率の引き上げに伴う低所得者の保険料の軽減強化	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町国民健康保険税条例 関係法律の制定公布に伴い、国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額の引き上げおよび減額措置に係る軽減判定所得の算定方法の変更	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の一部改正（8議案）																
日野町税条例 関係法律の制定公布に伴い、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の措置（軽自動車税環境性能割の軽減延長、徴収の猶予の特例、寄附金控除の特例等）を講じるもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 関係政令の制定公布に伴い、連携施設の確保について見直しを行うもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例 関係省令の制定公布に伴い、連携施設の確保および居宅訪問型保育事業者が保育を提供できる場合について見直しを行うもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例 関係省令の制定公布に伴い、放課後児童支援員の資格要件について改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町後期高齢者医療に関する条例 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対する傷病手当金の申請書の受付事務を町が行う事務に追加するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町介護保険条例 新型コロナウイルス感染症の影響により、介護保険料の減免を実施するため、減免申請の特例について定めたもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町国民健康保険条例 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対する傷病手当金の支給に関する規定を定めるもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町国民健康保険税条例 新型コロナウイルス感染症等の特別な事情がある場合は、減免申請の期限後において申請でき、遡及適用できるようにするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（2議案）																
一般会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

*「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・Emailまたは議会事務局までご持参願います。

主要地方道土山蒲生近江八幡線（御代参街道）の 現地視察で要望書を提出(6/23)



主要地方道土山蒲生近江八幡線（御代参街道）改良期成同盟会（西澤正治会長）は、視察のため滋賀県にいられた門博文国土交通大臣政務官に、早期全線整備の要望を行われ、議会からも正副議長と産業建設常任委員会正副委員長が出席しました。

日野小学校6年生83名が 日野町議会を見学(7/7)

社会科の地方自治を学ぶ学習で議会の見学にいられました。2学期には学習した内容をまとめ、プレゼンテーションを実施されます。我々議員も招待を受け、今から楽しみにしています。



議会を探検しよう！
(議員控室)



議会は何をする所？
(本会議場)

議長コラム



議長 杉浦 和人

真の公正・公平な
町政に期待します

記録的な豪雨により全国各地で河川氾濫、土砂崩れと甚大な災害が発生しました。多くの方が被災され、心からお見舞いを申し上げますと共に、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り致します。

さて、七月には八年ぶりに日野町長選挙が執行されました。政策論戦は当然であります。厳しい選挙が予想されることから、六月定例議会閉会日には両陣営関係者に「モラルも競う選挙にして下さい」と要請致しました。残念ながら選挙戦に入ればSNS等で誹謗中傷や公職選挙法に触れる疑わしいビラも見受けました。

しかし、「選挙が終ればノーサイド」素晴らしい言葉であります。新町長には前町長の功績を称え、尊重すべきところは引き継ぎ、一党一派に偏ることなく、真の公正・公平な町政運営、選挙戦で訴えた公約と住民のニーズをしっかりと捉えた施策の実現。併せて町の将来を背負う若者や若い町職員さんの意見も聴き「魅力ある町づくり」に着手していただきたいです。庁舎は常に若さがみなぎり、親しみ易い明るく環境のいい役場になる事を期待しています。

議員にあつては住民の代表として諸事を的確にただし、創造力を高め「多くの住民が望む」提言・提案を重ねていただき、行政・議会がワンチームで活力ある町に邁進して参ります。

報告 堀江和博議員は、公職選挙法の規定により6月30日付けで日野町議会議員を失職致しました。

編集後記

コロナ禍でヒト・モノ・カネの動きが止まり、生活様式も様変わりしました。都市部では第二波の感染拡大が進んでおり、気を緩めず乗り越えたいものです。

このような中、7月11日、新しい町長が誕生しました。特集でインタビューの内容を記載しました。待ったなしのコロナ禍対策や、住民の暮らしに幅広い視野で耳を傾け、日野町の将来を築き上げてほしいと思います。

(山本 秀喜)

議会広報特別委員会

- 委員長 堀江 和博 (6月30日失職)
- 副委員長 後藤 勇樹
- 委員 齋藤 光弘
- 委員 加藤 和幸
- 委員 高橋源 三郎
- 委員 山本 秀喜
- 委員 野矢 貴之